

## 報道機関への情報提供

項 目	「やさしい日本語」講座（大船渡地区）の開催について
日 時	令和6年2月7日（水） 13：30 ～ 15：30
場 所	シーパル大船渡2階 大会議室（大船渡市盛町字二本杵8-6）
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【趣旨】</b> 多文化共生理念の普及啓発を目的に、沿岸局管内の地方自治体職員等を主な対象に、外国人県民等が理解しやすい「やさしい日本語※」の理解を深めるための講座を開催しますので、事前の周知及び当日の取材について、よろしく願いいたします。</p> </div> <p>※ 日本語能力が十分でない外国人にもわかりやすいように配慮された日本語          (例) 「土足厳禁」 → 「靴を脱いでください」</p> <p><b>1 対象</b>          仕事上で外国人と接する機会がある方          ※ 行政・公的機関の職員、外国人を雇用する事業など</p> <p><b>2 内容</b>          (1) テーマ          「話し言葉としてのやさしい日本語【窓口対応編】」          (2) 講師          岩手大学国際教育センター長 教授 松岡 洋子 氏</p> <p><b>4 参加費</b>          無料</p> <p><b>5 申込方法</b>          メール又はファックス（申込期限：1月31日（水））          （県ホームページ：<a href="https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/1068958/1070976.html">https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/1068958/1070976.html</a>）</p> <p><b>6 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業は、県の地域経営推進費を活用しています。</li> <li>・ <u>令和6年1月28日（日）13：30～15：30</u>には、<u>大槌町文化交流センターおしゃっちで</u>、<u>やさしいツーリズム研究会代表 吉開章 氏</u>を講師とした、やさしい日本語講座を開催します。              こちらについては、沿岸広域振興局経営企画部企画推進課（0193-27-5521）へお問い合わせください。</li> </ul>
取材時の留意点	
問合せ先	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター 地域振興課長兼復興推進課長 大山、主事 鈴木 （電話：0192-27-9911 内線310）

# やさしい日本語講座

～話し言葉としてのやさしい日本語【窓口対応編】～

近年、外国から来県する方が増え、仕事上でも外国人と接する機会が多くなっていますが、私たちが、全ての国の言語に対応することには限界があります。

「やさしい日本語」は、外国人にもわかりやすいように配慮された日本語です。

県では、窓口対応の事例を用いながら、話し言葉としての「やさしい日本語」を学ぶ講座を開催します。

## 講師

岩手大学国際教育センター長  
教授 松岡 洋子 氏

- ◆文化庁 地域日本語教育アドバイザー
- ◆文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員
- ◆一般財団法人自治体国際協会地域国際化推進アドバイザー

## 日時

令和6年2月7日（水） 13:30～15:30

## 場所

シーパル大船渡 2階 大会議室（大船渡市盛町字二本杵8-6）

## 対象

仕事上で外国人と接する機会がある方

※行政・公的機関の職員、外国人を雇用する事業者など

## 参加費

無料

## 申込方法

メールまたはファックスで、1月31日（水）までにお申し込みください。詳しくは、裏面をご覧ください。

## 問い合わせ

沿岸広域振興局

大船渡地域振興センター 地域振興課（0192-27-9911）

## やさしい日本語とは？

日本人同士が使っている会話よりも簡単で、日本語能力が十分でない外国人の方にもわかりやすく配慮した日本語です。

ゆっくり話し、相手が理解しているかを確認しながら話すことが重要です。

たとえば…

「土足厳禁」



「靴を脱いでください」

### 【お知らせ】

令和6年1月28日（日）13:30～15:30には、大槌町文化交流センターおしゃっちで、やさしい日本語ツーリズム研究会代表 吉開章 氏を講師とした、やさしい日本語講座を開催します。

この講座の詳細は沿岸広域振興局経営企画部企画推進課（0193-27-5521）へお問い合わせください。

# やさしい日本語講座 参加申込書

【1月31日（水）までにお申し込みください】

【送り先】 沿岸広域振興局 大船渡地域振興センター 地域振興課 行き

メール：BG0001@pref.iwate.jp / ファックス：0192-27-1395

※太い枠の中は、必ずご記入ください。

(ふりがな)	
氏 名	
所属団体名	
電話番号	
お住いの市町村	大船渡市・陸前高田市・住田町・その他（ ）
講師に質問 したいこと	
備 考	

※ご提供いただいた個人情報は、本講座の運営以外には使用しません。また、ご本人の同意がない場合には、第三者に提供することはありません。

## 報道機関への情報提供

項 目	令和5年度大船渡地方農業振興研修会の開催について
日 時	令和6年1月23日（火）13：30～16：00
場 所	陸前高田市コミュニティホール（シンガポールホール） 〒029-2205 陸前高田市高田町字栃ヶ沢210-3
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【趣旨】</b> 大船渡地方農業振興協議会*では、大船渡管内の農業者等を対象に、「大船渡地方農業振興研修会」を開催します。 本研修会では、「近年の気候変動が農業に及ぼす影響とその対策」をテーマにした講演のほか、「スマート農業」や「耕畜連携」にかかる実証事業の実績について、報告が行われます。</p> </div> <p>※大船渡地方農業振興協議会（会長：佐々木拓陸前高田市長） 気仙3市町、JAおおふなと、県（大船渡農林振興センター・農業改良普及センター他）、関係団体等で構成。</p> <p><b>1 目的</b> 農業生産者の高齢化と減少が全国的に進むなか、大船渡地方における担い手の育成と経営意欲喚起、地域特性を生かした効果的な農業経営の推進を目的として、「大船渡地方農業研修会」を開催する。</p> <p><b>2 主催</b> 大船渡地方農業振興協議会</p> <p><b>3 参集者</b> 大船渡地方の農業生産者、関係機関・団体の職員等（参加見込150名）</p> <p><b>4 内容</b>          (1) 講演：「気候変動が及ぼす農業への影響 ～温暖化の状況・農業生産への影響と対策～」          講師：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 主任研究員 大久保さゆり 氏          (2) 報告1：「気仙地域のスマート農業の推進について」          大船渡農林振興センター農業振興課 主査 佐々木忍 氏          報告2：「耕畜連携の推進ー鶏糞ペレットの活用について」          大船渡農業改良普及センター産地育成課 技師 八重樫聡太 氏       </p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大船渡農業振興協議会では、優良な経営体の表彰を行う「農業振興大会」と「農業振興研修会」を交互に開催しており、令和5年度は「農業振興研修会」の開催年。</li> <li>・ 講演は、農業分野における気候変動研究の専門家を招聘し、気候変動の影響や被害発生メカニズムについて理解を深め、適応策の糸口・ヒントをつかむことを目的に開催するもの。</li> </ul> </div> <p><b>5 申込方法</b>          (1) 申込期限：令和6年1月12日（金）          (2) 申 込 先：大船渡市農林課（0192-27-3111）、陸前高田市農林課（0192-54-2111）          住田町農政課（0192-46-3861）、JAおおふなと営農部（0192-22-7520）</p>
取材時の留意点	当日の現地取材対応可能
問合せ先	沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農業振興課 農業振興課長 渡邊嘉紀（電話：0192-27-9914 内線365） 大船渡農業改良普及センター 地域指導課長 佐々木真人（電話：0192-27-9918 内線255）

# 大船渡地方 農業振興研修会

日 時

令和6年

1月23日(火)

13:30~16:00

会 場

陸前高田市

コミュニティホール  
(シンガポールホール)

陸前高田市高田町字柝ヶ沢210-3

内 容

講 演

「気候変動が及ぼす農業への影響」

～温暖化の状況・農業生産への影響と対策～

講師 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター  
主任研究員 大久保さゆり氏

報 告

- 1 「気仙地域のスマート農業の推進について」
- 2 「耕畜連携の推進～鶏糞ペレットの活用について～」

申込方法

お住まいの市町の農林(農政)課又はJAへご連絡ください。

期 限

令和6年1月12日(金)

申込先

大船渡市農林課 0192-27-3111 陸前高田市農林課 0192-54-2111  
住田町農政課 0192-46-3861 JAおおふなと営農部 0192-22-7520

主催

大船渡地方農業振興協議会

私たちは、岩手県、大船渡市、陸前高田市、住田町、JAおおふなと等で構成する団体です。

## 報道機関への情報提供

項 目	産地力向上協議会について
日 時	令和6年1月25日(木) 13:30~15:30 (13:00~報道受付)
場 所	大船渡市魚市場 3階 多目的ホール (大船渡市大船渡町字永沢 209)
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【趣旨】</b> 管内の水産に係る生産者団体と加工流通団体及び行政機関が一堂に会し、情報の共有や、共通する課題について解決策を協議・検討するため、「産地力向上協議会」を開催します。この協議会は、他管内でも開催例は無く、当管内独自の取組みとして初めて開催するものです。 是非、取材いただきますようお願いいたします。</p> </div> <p><b>1 日時等</b> (1) 日時 令和6年1月25日(木)13:30~15:30 (2) 場所 大船渡市魚市場 3階 多目的ホール(大船渡市大船渡町字永沢 209)</p> <p><b>2 内容</b> (1) 前浜資源の利活用促進について ア 定置入網魚の変化(時期・サイズ、暖水系の増加等)への対応について イ 豊富なウニ資源の利用促進について (2) その他</p> <p><b>3 参集者</b> (1) アドバイザー 金井 毅 氏(岩手県産業創造アドバイザー) (2) 生産者団体 気仙広域水産業再生委員会構成員 (沿海地区5漁業協同組合代表理事組合長ほか) (3) 加工流通団体 大船渡湾冷凍水産加工業協同組合役職員 (4) 行政機関 大船渡市農林水産部水産課長、陸前高田市地域振興部水産課長、大船渡水産振興センター所長</p> <p><b>4 参考</b> (1) 産地力向上協議会(以下「協議会」)は、昨年度、今回同様の参集团体・機関による「前浜資源の利活用促進に向けた意見交換会」(令和5年2月9日)を開催した、その発展形として初めて開催するものです。 (2) 上記「2 内容」(1)のテーマについては、全国の先進事例を踏まえた検討とするため、岩手県産業創造アドバイザーである 金井 毅 氏 に出席をお願いしています。 (3) 次回以降の開催については、今回の検討結果を踏まえ、関係団体・機関と協議する予定です。</p>
取材時の留意点	カメラ撮りは、会議冒頭のみ(主管公所挨拶まで)とさせていただきます、協議事項以降は退室をお願いします。
問合せ先	大船渡水産振興センター 水産振興課長 佐藤 弘康、特命課長 稲荷森 輝明 (電話：0192-27-9915 内線233、228)

## 産地力向上協議会次第

令和6年1月25日（木）13:30～15:30

大船渡市魚市場 3階 多目的ホール

1 開 会

2 出席者紹介

3 挨拶

4 協 議

(1) 前浜資源の利活用促進について

ア 定置入網魚の変化への対応について

イ ウニ資源の利用促進について

(2) その他

5 閉 会

## 産地力向上協議会開催要領

### 1 目的

これまで地域を支えてきた秋サケ、サンマ、スルメイカ等の主要魚種から、水揚量が増加または安定している魚種等への転換を進め、産地としての活力を維持・発展させることを目的として、生産者団体と加工流通団体及び行政機関が一堂に会し、情報の共有や、共通する課題について解決策を協議・検討するため「産地力向上協議会」を開催する。

### 2 主催

気仙広域水産業再生委員会、大船渡湾冷凍水産加工業協同組合、大船渡市、陸前高田市、大船渡水産振興センター(主管)

### 3 開催日時

令和6年1月25日(木)13:30~15:30

### 4 開催場所

大船渡市魚市場3階多目的ホール(大船渡市大船渡町字永沢209)

### 5 内容

#### (1) 前浜資源の利活用促進について(アドバイザー出席)

##### ア 定置入網魚の変化(時期・サイズ、暖水系の増加等)への対応について

ブリ、マイワシ、サバは来遊時期やサイズが年ごとに変化している。また、新たにタチウオやケンサキイカなど暖水系の魚が増える傾向にある。

変化する前浜資源の利用や付加価値向上に向けた現状を共有し、アドバイザーからの先進事例の紹介や助言を得て、今後の取組み等について協議する。

##### イ ウニ資源の利用促進について

震災後のウニ資源は高水準で安定しており、海藻の食害やアワビとの餌の競合などの問題が継続している。

ウニの一番の資源管理対策は漁業者による採捕(開口)や、漁場からの除去であることから、計画的な開口や安定的な出荷、蓄養・養殖に向けた取組みを共有し、アドバイザーから助言を得て、利用促進の方向について協議する。

#### (2) その他

(1)以外の内容について協議又は情報を共有する。

### 6 出席アドバイザー

岩手県産業創造アドバイザー 金井 毅 氏

### 7 参集団体・機関

#### (1) 生産者団体 気仙広域水産業再生委員会(構成員・事務局)

大船渡市地域水産業再生委員会(越喜来、吉浜、綾里及び大船渡市漁業協同組合代表理事組合長・事務局)

広田湾漁協地域水産業再生委員会(広田湾漁業協同組合代表理事組合長・事務局)

#### (2) 水産加工流通団体 大船渡湾冷凍水産加工業協同組合(役職員)

#### (3) 行政機関

大船渡市農林水産部水産課、陸前高田市地域振興部水産課、大船渡水産振興センター




かないたけし

## 金井 毅 (埼玉県在住)



経歴	1983年 電通入社。メディア業務、営業部門、販促部門を経て、事業開発などに携わる。 2021年3月電通退社後、「萬商相談」を立ち上げ、様々な企業や自治体などのビジネス推進のサポートを開始。同時にニューホライズンコレクティブに参加、「売れる仕組み創造室」を立ち上げる
----	--

支援分野	商品（サービス含）開発・改良 販路開拓・販売促進 DX デジタルプロモーション
主な実績	●岩手県産業創造アドバイザー●高知県地産外商アドバイザー●安曇野市観光ヴィジョン策定委員・安曇野市商農工連携アドバイザー ●米原市まち・ひと・しごと創生有識者委員会座長 ●宮城県水産加工品品評会審査委員 ●埼玉県「NEXT 商店街」プロジェクト推進委員 ●東北水産加工イノベーションプロジェクトプロモーター ●東北復興水産加工品商品支援支援事業総合プロデューサー ●関東経産局地域支援プログラムディレクター ●中小企業基盤整備機構「震災復興アドバイザー」 ●日本スーパーマーケット協会「次世代販促」プロジェクト委員 ●復興庁グループ化支援事業ディレクター ●県立静岡文化芸術大学「マスメディア論」講師 ●国立大学法人信州大学「経営工学」講師 ●常葉大学造形学部講師 その他、地方自治体・地銀・企業要請による講演多数
県内食産業事業者へのメッセージ	商売に関することは遠慮なく何でもご相談ください。 
その他	<a href="https://newhorizoncollective.com/news/C05KjmFrvUvB_Q">https://newhorizoncollective.com/news/C05KjmFrvUvB_Q</a> <a href="https://note.newhorizoncollective.com/n/ne5cb91f2c04e">https://note.newhorizoncollective.com/n/ne5cb91f2c04e</a>

# 「萬商相談」で日本各地の「埋もれた宝」を発掘し磨く

## 金井毅

KANAI TAKESHI

### 経歴

1983年 電通入社。メディア業務、営業部門、販促部門を経て、事業開発などに携わる。  
2021年3月電通退社後、「萬商相談」を立ち上げ、様々な企業や自治体などのビジネス推進のサポートを開始。  
同時にニューホライズンコレクティブに参加、「売れる仕組み創造室」を立ち上げる

[https://newhorizoncollective.com/news/C05KjmFrvUvB\\_Q](https://newhorizoncollective.com/news/C05KjmFrvUvB_Q)

<主な活動経歴> <https://note.newhorizoncollective.com/n/ne5cb91f2c04e>

官公庁・自治体等アドバイザー・コンサル業務：主に商品&サービス改良・開発・販売戦略など

- 高知県地産外産アドバイザー ●安曇野市観光ビジョン策定委員・安曇野市商農工連携アドバイザー
- 米原市まち・ひと・しごと創生有識者委員会座長 ●宮城県水産加工品品評会審査委員
- 埼玉県「NEXT商店街」プロジェクト推進委員 ●岩手県産業創造アドバイザー
- 東北水産加工イノベーションプロジェクトプロモーター ●東北復興水産加工品商品支援支援事業総合プロデューサー
- 関東経産局地域支援プログラムディレクター ●中小企業基盤整備機構「震災復興アドバイザー」
- 日本スーパーマーケット協会「次世代販促」プロジェクト委員 ●復興庁グループ化支援事業ディレクター など

大学での講師：地域支援の一環としてリアルなクライアントの課題解決を学生とともに考える

- 県立静岡文化芸術大学「マスメディア論」講師 ●国立大学法人信州大学「経営工学」講師 ●常葉大学造形学部講師

その他、地方自治体・地銀・企業要請による講演多数

風評被害に苦しむホヤを使った商品開発。箱のデザインは常葉大学生



塩釜のかまぼこブランド作業。ブランドロゴデザインは常葉大学生



コエドビール「祭りエール」コロナで苦しむ東北六大祭りを支援するビールを企画・開発



### 参加理由

電通で得た様々な経験や知見、ネットワークを活かして地域を元気にすることを目的として参加しました。  
このような仕事は企業で取り組むよりも個人事業主として取り組んだ方が小回りも効くので。

